

夏季栽培でも割れやス入りが少ないため、  
玉出しのサラダ用契約栽培に使われています



# NX-BR896

## ハツカダイコン

北海道の冷涼な気候を活かして、カットサラダ用のハツカダイコンの栽培がおこなわれています。11月～5月には鹿児島でも栽培されていますが、高温に弱いハツカダイコンは北海道の雨よけ栽培で良品が生産されています。

6月～10月は北海道産が中心ですが、特に8、9月どりは気温が高いので、ス入りが遅い品種が必要です

出荷規格は直径25mm～35mmのため、発芽率が高いのはもちろん、一斉に発芽が揃うことが重要です。右の写真の4間ハウスでは36条植として、株間3.5cmのシートテープ播種を行っており、175坪のハウスで「NX-BR896」を使用した目標収量は600kgです。



高発芽率で抜群の揃い

渡辺農事がお奨めする「NX-BR896」なら、

①きれいな球形に仕上がる



7月どりでは長玉になりにくく形や大きさがよく揃います。高温時は葉長が伸びやすいので、かん水量に注意します。

②ス入り、割れが少ない



8月どりでも割れが少なく、歩留まりが高いことに加えて、出荷調整のために冷蔵してもス入りは発生しにくい品種です。

③根色が美しい



根色は8～9月どりでは若干淡くなりますが、濃紅色に仕上がります。



今回取材した集荷業者様は、北海道各地で契約栽培を行っていますが、「NX-BR896」は5月から9月まで播種できて、収量性も高く、出荷調整の冷蔵保存にも向いていると評価いただいています。

「NX-BR896」は生産者の一部に導入3年目となっており、栽培指導と共に他の生産者へ試作の予定です。

6月から10月までは日量500kg出荷を行い、年間では100トン程度を出荷目標にしています。生産物は関東のカットサラダ工場へ出荷されています。

**「NX-BR896」は1万粒詰の販売となっています。商品詳細はP16をご参照下さい!**